

2016年12月12日

2017 World Para Athletics Marathon World Cup（ロンドンマラソン）代表選手 選考規定

認定 NPO 法人日本盲人マラソン協会

1 選考対象競技会

大会名：2017 World Para Athletics Marathon World Cup

日 時：4月23日（日）

場 所：イギリス ロンドン（ロンドンマラソンにて実施）

※2017年、世界選手権（同7月、ロンドン開催）では実施種目の該当なし。

2 選手選考人数（派遣人数）及び選手団

日本盲人マラソン協会として、標記大会に以下の選手数を派遣する。

男子 T11：3名、男子 T12：3名、女子 T11/12：4名とし、最大10名とする。

但し、国際クラスステイタス「N (New athlete)」の選手の派遣が認められた場合は T13 に若干名を追加することがある。

3 招待選手の優先派遣

Para Athletics から招待選手として招聘があり、参加を承諾した以下の選手を優先派遣する。

男子 T11 和田伸也、男子 T12 熊谷豊

女子 T11/12 道下美里、近藤寛子、西島美保子 以上5名

残りの派遣人数枠 男子 T11：2名、男子 T12：2名、女子 T11/12：1名を、以下の選考規定に則り選考する。

4 選考規定の設定

8月25日付「2017年国際大会の選考について」、で示した方針に従い、以下の通り規定を設ける。

5 推薦資格

- 1) 日本盲人マラソン協会(以下、JBMA)の会員であり、国際パラリンピック委員会(以下、IPC)の選手登録を行っていること。
- 2) JBMA代表選手・日本代表選手として、自覚と規律ある行動がとれる選手であること。
- 3) 国際クラスステイタス「C (Confirmed)」及び「R (Review)」を取得していること。

但し、国際クラスステイタス「N (New athlete)」の選手の参加については確認が取れ次第決定する。

- 4) 有効期間(2015年1月1日～2016年12月18日)内に、IPC公認記録において参加標準記録を突破していること。なお、組織委員会の設定する有効期間は2017年1月22日までとなっているが、代表選手推薦のスケジュールを勘案し、JBMAでは上記有効期間とする。

6 選考基準

推薦資格を有し、本大会でのメダル獲得または、入賞が期待できる選手を選考する。

7 選考対象レース

- 1) 2016年 8月：北海道マラソン
- 2) 2016年 9月：リオデジャネイロパラリンピック
- 3) 2016年 12月：防府読売マラソン

なお、エントリー締切が1月23日のため、「2017年国際大会の選考について」に記載の別府大分毎日マラソンは選考対象外とする。

8 選考対象レースの優先順位

- 1) 選考方針に則り、国際競技会のリオデジャネイロパラリンピックの成績(入賞、順位、記録)を最優先とする。
- 2) 女子は日本選手権である第47回防府読売マラソン大会の成績を優先する。
- 3) 男子は第30回北海道マラソン大会及び第47回防府読売マラソン大会の成績から選考する。

9 選考手順

- 1) 最終選考競技会終了後、強化委員会で代表選手選考並びに選手団の原案を作成する。
- 2) 選考原案については理事会の審議、承認を得て決定する。
但し、理事承認は理事長の判断により、書面または電子文書により審議する場合がある。

以上

<参考>

資料1：北海道マラソン大会成績

資料2：リオデジャネイロパラリンピック成績